

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

# 水産

3

MARCH  
1994



特集 水産ぎょうせい

No.449



## 季節の香

かきり

### 【蜂／ハチ】

花から花へ、蜜を求めて蜂が飛んでいる。養蜂家は春をまちかね、花前線と共に列島を渡って行く。南から北へとつづく雄大な花行脚。梅林の中にも小さな蜂たちの懸命な姿が見られる。梅が終わり桜が咲けば、田にはレンゲの絨緞が広がるが、今はまだ寂しい眺めである。

春早く、人家の軒先に巣を作るアシナガバチは冬を越してきた雌蜂たちだ。雄は厳しい寒さに勝てない。女性が長生きなのは種族保存という大切な役を担う、自然の条理である。出来たての巣に卵を生みつけ、次々に巣を広げる。働きバチが巣立つまでは孤軍奮闘。さながら肝っ玉かあさんだ。

淡い陽射しの枯葉色した道で、鮮やかなミドリノ芽生えを見付けた。花の子らをしっかりと抱いたフキノトウだった。

# COLUMN

## 「松の廊下」傷害事件

◆元禄十四年三月十四日。江戸城松の廊下で、浅野内匠頭が吉良上野介に刃傷に及んだ。この傷害事件を赤穂へ知らせたのは、早水藤左衛門と菅野三平である。江戸から六二〇軒。駕籠を乗り継いで急報だった。今なら新幹線で僅かの距離だが、彼らの着到は事件後五日目の朝。播州赤穂駅の近くに二人が水を飲んだ「息欠きの井戸」があるが、実は井戸ではなく上水道である。赤穂は塩水の侵入で井戸水が使えず、千種川の水を引いた「赤穂上水」が早くから整備さ

れていた。城の用水として利用し、各戸へ配水した遺構が残っている。◆刃傷の原因は、贈賄のイザコザと定型化されているが、記録がある訳ではなく真相は分からない。内匠頭は祖父の代に常陸から移って来た浅野家の三代目藩主であるが、かなりのカンシャク持ちだったらしい。家臣達を路頭に迷わせる事になった原因は、意外とつまらぬ短気から激発したものであるかも知れない。

◆翌年、師走十四日夜更け。赤穂浪士は吉良邸に押し入り上野介の首を打った。内匠頭は切腹／お家取り潰し、吉良はお構い無しとい

う裁きに、不公平さを感じていた江戸の人々は、これを快挙と大喝采で迎えた。討入りに参加したのは十六から七十七歳までの四十七名。指導者の大石内蔵助は、文武に秀れ腕も立つというキレ者だった。主君とはソリが合わず、冷遇されていたというが、その内蔵助が仇討ちの主力となったのだから、人の定めとは分からないものだ。冷静沈着に計画を進め、見事に本懐を遂げる。その統率力の素晴らしさは、現代の企業経営にも一脈通じるものがあるのではなからうか。

(遊方子)

# 拓水 MARCH CONTENTS

ESSAY	3
信漁連情報	3
特集	4
水試ノート	5
TOPICS	7
漁海況情報	8
栽培漁業センターです	9
旬の美味しい話	
兵庫JCC通信	
こちら海ですロケだより	

カタカナの氾濫 天野 栄蔵

全国漁協  
貯金ネットサービスが始まっているよ!

水産ぎょうせい

ホタルイカに関する既往知見の整理(概略)

第40回全国漁村青壮年婦人活動実績発表大会  
摂播地区漁青連が農林水産大臣賞を受賞

海区漁業調整だより

普及員だより

不調の続くシラス漁

いか入り野菜サラダ

輸入米の安全性論議・消費者と緊急シンポジウム  
神戸商船大学生協、  
まずは大学会館食堂がオープン

円山川のハマグリ  
兵庫県城崎郡城崎町より

## 今月の表紙

### フォトギャラリー



表紙写真  
進さん  
〈県漁連〉

### フォト歳時記

カタクリの花(氷上町にて)  
林の奥に可憐な花の群落を見た。淡いピンクのカタクリの花。樹々の芽が伸び切ってしまわぬうちに、急いで花をつけた。春の陽射しの中で、小さな命の炎が、静かに燃えて広がる。  
昔、根からカタクリを採り、葉を山菜とした。古くはカタカゴと呼ぶ馴染み深い草なのに、こんなに少なくなってしまった。カタクリのつばやきが……。  
水分け橋から少し入った静かな集落。丹波の名刹達身寺を訪ねた、春早い小さな旅の思い出。

### 表紙写真募集

アマチュアの方で、ご自慢の写真がございましたら、左のように明記して、お送り下さい。写真は必ずご返却いたします。①写真撮影場所②氏名(フリガナ)③郵便番号・住所④自宅電話番号(市外局番号も)⑤年齢・職業

### 送り先

〒六五二 神戸市兵庫区中之島二丁目  
二一 県立水産会館

兵庫県漁業協同組合連合会  
指導部指導課「拓水」係宛

# カタカナの氾濫

兵庫県信用漁業協同組合連合会  
専務理事 天野栄蔵

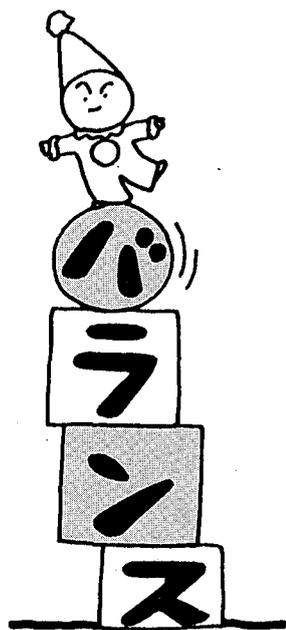


戦後わが国がアメリカナイズされていった過程で、英語が、言葉として又文字（カタカナに衣がえした活字）として、日本文化の中へ急速に入り込んできた。

私たち年配者にとって、当時カタカナ文字は、魚や鳥の名前、外国の人名や地名などに限られていたから、終始大いなる戸惑いを感じたものである。

しかし、言葉や文字は、使用頻度がふえ、普及するにつれて抵抗が薄れていくのが実感のようだ。スポーツ用語は当然として、社会面での簡単な用語は、比較的なじみ易いのか或程度までは知らず知らず身に付いてきたようだ。漁協系統でも、ビジョン、アドバース、システム、メリット、アイデアなど（合併推進資料より）無意識に口に出、書き込むようになってきている。中には、サービス、オープン、バランスなどすっかり日本語化したものも多い。かくして外来語アレルギーもやや治まったかにみえた。

ところが近頃のすさまじいふえ方は



どうだ。新聞雑誌の記事の中にやたらとカナ文字が出てくるのに閉口する。ことがおびただしい。コンピュータの世界は別としても、政治、経済、金融などの記事を読んでもカナ文字専門用語に出会わぬことはない。大体今までは、専門語と言っても、インフレーション、インターバンク、プライムレート、ファンドマネー、ファンダメンタルズなど割合となじみがあったが、最近では唐突な単語がぼんぼん飛び出す有様である。

「企業マインドはすっかり冷え込み、リストラ（クチャリング）を進めるかたわら当面為替リスクをヘッジすることで何とか耐えているが、リセッションの長期化を懸念する向が多い」

或る記事の引用（ダイジェスト）だが、人によって理解度は異なる。要は言葉の意味の浸透性だが、仕事に直接関わる問題だから判からぬ存せぬで通用しない。結局はカタカナの挑戦を受けて勉強せざるを得ない。

新しい受難期のはじまりである。

## 信漁連情報 全国漁協 貯金ネットサービスが始まっているよ!

信漁連情報

全国漁協 貯金ネットサービスが始まっているよ!



漁協キャッシュサービス

組合員の皆さん、昨年十一月八日から全国漁協貯金ネットサービス（全国ネット）がスタートしていることを御存知ですか。

この全国ネットは、全国の漁協・信漁連・農林中金の各店舗（ただし、全国漁協オンラインネットワークに加盟している店舗）が参加し、現在、約千店舗で皆様をお待ちしております。

これまでの漁協の貯金ネット網は、兵庫県内に限られていたことから、不便な面もありましたが、スタート後は、全国の主要な漁村・漁港には、全国ネット参加店舗があり、とても便利になりました。

例えば、貯金の入金・出金、総合口座の貸越・返済、カードローンの借入・返済の機能をもっており、キャッシュカードをもっていますと、全国の各参加店舗で、貯金、借入金の入出金が自由にできます。

現在、漁協系統では、このキャッシュカードの発行推進を行っておりますので、最寄りの全オン加盟店または信漁連（全オン未加盟店の組合員さんは信漁連へ）までお申し出ください。お待ちしております。

# 特集

## 水産ぎょうせい

### 漁港課建設係 の業務内容は？

水産関係者一般においては、「ハード担当」とか「土木屋」と認識されているように感じられますが、その事務を概括して紹介します。

事務分掌という、堅い言葉で表現しますと、県管理の漁港及び漁港海岸事業の実施に関する事、及び市町管理の漁港及び漁港海岸事業の指導監督に関する事、さらに災害復旧に関する事があげられます。

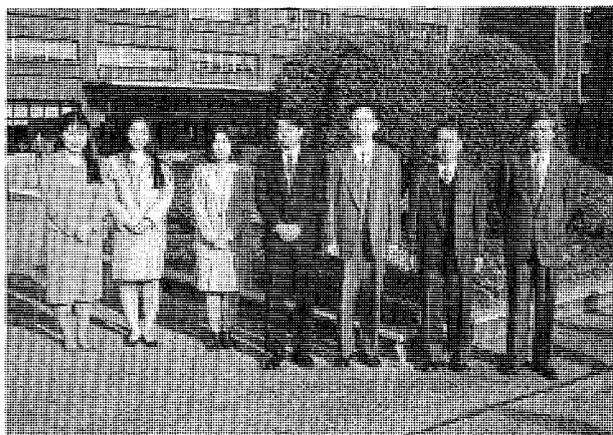
事業実施とは、大まかにいえば防波堤や、物揚場等の構造や工法の決定から予算の範囲内でその施設の築造に係る金額を見積り、発注し、完了するまで監督するということとなりますが、県における漁港等事業は、そのほとんどが国庫補助事業によるため、我が建設係の事務及びスケジュールは補助金に係る事務手続きに沿った形になります。

そこで一年のサイクルとしては、水産庁に対する早着認可申請あるいは認可申請から始まります。

認可申請ヒアリングにおいては、当該年度の事業内容の説明の他、新規着工の防波堤などについては、工法協議という形でその断面決定にいたるまでの設計計算、及び提案断面の経済性・安全性などについて水産庁の担当官に説明を行い、内容についての審査を受けます。

事業を円滑に実施していくうえで、この工法協議をいかにこなしていくかが、重要になってくるわけですが、最近では漁港事業の実施内容が広範囲にわたり、当然のことながら要求される知識も多岐にわたるようになりました。

具体的な例をあげるならば、漁業集落環境整備事業の汚水処理施設においてはその内容が下水処理に関するものである為、下水道に関する知識が必要となるし



漁港関連道整備事業においては、橋梁等に関する知識も要求されます。

建設係は全員土木の技術屋ですので、理想的には、これらの関連するすべての分野について、相当の知識を持ち合わせることが望ましいのですが、なかなか困難な面もある為、関係する主管課に意見を聞きにいたりして、対応するケースもしばしば生じます。

国(水産庁)への認可提出後の業務としては、関係事務所や指導監督業務を直接

受け持っている市町から施工協議を受ける実施設計書の審査があります。

特に、この市町分については、全設計書について審査することになっており、設計積算書が電算処理されていない為、歩掛・単価の適用についての指導も加わってきます。最近、年々歩掛の内容が細分化される傾向にあり、審査する側としてもその内容を熟知しなければならず、会計検査等を考えると非常に責任の重い仕事であると思います。

このような通常の業務に加えて、災害が発生した場合には、その復旧に関する業務が生じます。漁港の場合、降雨よりも風による被害(波浪は風によって発生する為)が圧倒的に多いので、特に台風が通過する場合には、災害の発生が懸念されますし、台風のシーズンが終わった後でも、日本海側では冬季風浪による被災も考えられるので、春先まで安心とは言えません。

以上のような仕事で、建設係の主な役割といえるわけですが、基本的には関係事務所や市町の担当者の方と一致協力し、事業を円滑に実施できるように中継し、助言をし、埋立免許等の諸手続きが生じる場合には次年度あるいはその次の年度を見通した指導監督あるいは助言等を実践していくことが重要であると考えています。

これで、建設係の紹介は終わらせていただきます。

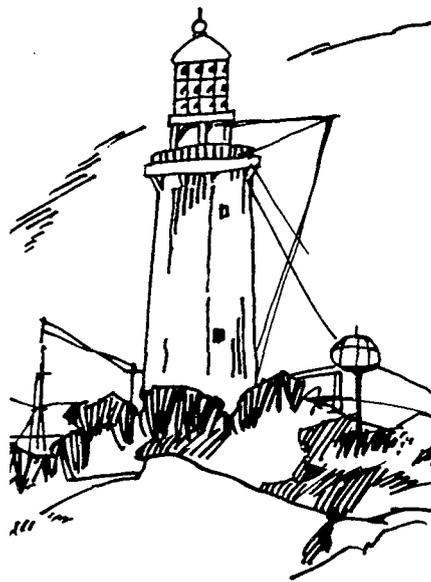


# NOTE

水試

## ホタルイカに関する

## 既往知見の整理(概略)



ホタルイカは小型イカで外套長約六cmになり、胴頭、目の周辺、漏斗、第三、四腕に合計千個ほどの発光器があります。日本海から太平洋にかけての日本周辺海域に広く、また百〜六百mの中間に分布することが知られています。

### 一、漁業実態

富山湾では、定置網で漁獲されていましたが、昭和五十九年に兵庫県沖で底曳網漁船の漁場が開発され、その後、この漁場は若狭湾へと広がり、昭和六十年の漁期では、隠岐島西側海域から若狭湾にかけての水深二百m付近の海域が漁場となりました。兵庫県沖の漁場は、水深二百m付近の潮目の水温六℃以上、塩分三十四・一〇以上の暖流系水中に形成されます。また、平成二年の日本海におけるホタルイカの漁獲量は約七千トンで、統計上最高の漁獲量となりました。

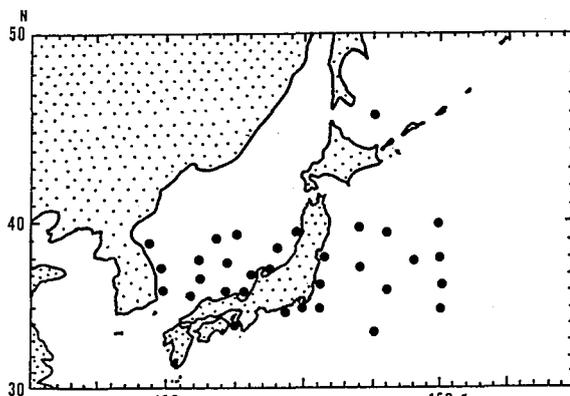


図1 ホタルイカの生息分布

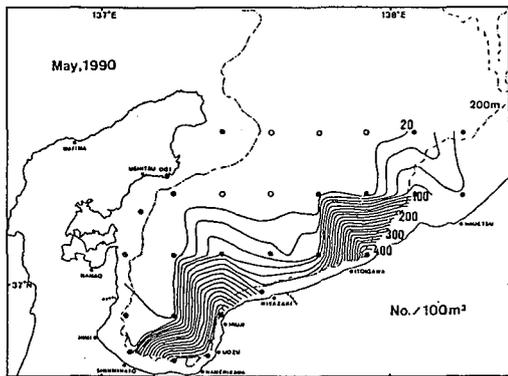
### 二、生息域(産卵場、回遊等)

ホタルイカは古くから本州日本海側のほぼ中央部に位置する富山湾において、春季に大群をなして接岸することによって有名でした。

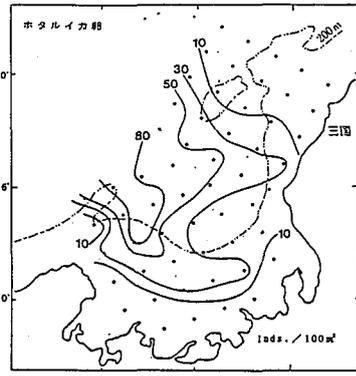
産卵場は、富山湾では湾奥部の沿岸域に、若狭湾から山陰沖合では水深二百m等深線に沿った海域に、三月中旬から七月上旬にかけて形成されます。卵の分布も産卵場付近の表層から百m深までに多く見られ、四〜六月にピークを持ちます。稚仔(外套長八mm未満)は、卵より深い

表1 日本海におけるホタルイカ漁獲量 単位:トン

年\府県	鳥取県	兵庫県	京都府	福井県	石川県	富山県	新潟県	合計
1984	-	362.9	7.2	-	-	729	8.3	1107.4
1985	-	518.6	57.6	1060.3	-	930	15.4	2581.9
1986	-	498.2	6.6	1646.4	296.1	476	12.2	2935.5
1987	-	1225.4	32.8	2043.4	351.3	800	4.5	4457.4
1988	-	1277.4	21	1170.3	151.3	1342	12.5	3974.5
1989	13	1831.3	14	2174	223.3	2225	7.8	6488.4
1990	30	1872.7	13	1132.5	47.2	3732	54.3	6881.7
1991	46.7	2097	10.7	1597.4	95.6	1290	12.1	5149.5
1992	56.7	1889.6	11.6	476.2	79	3893.5	16.1	6422.7
1993	26.4	2566.9	2.9	600.5	188.5	1698.7	2.5	5086.4



富山湾 平成2年5月



若狭湾 昭和61年5月

図2 ホタルイカ卵の水平分布

水深帯の表層域に分布します。未成体は十月頃まで産卵場より沖合域に分布し、成長とともに沿岸へ移動します。成体のホタルイカは、富山湾周辺海域において二月には湾口部の方が湾奥部の主漁場より多く、三月になると湾奥部が多くなり五月末まで続きます。六～七月にはまた湾口部の方が多くなります。このような富山湾の傾向は若狭湾や兵庫県沖でも見られ、三月下旬から五月下旬の水深二百m付近に特に集中して分布しています。

三、食性  
十一月から一月にかけての富山県沖において中層曳網で採集された三十六尾の内二十六尾が捕食していました。捕食生物は、コペポダが主体で、その他はオキアミ類や端脚類の動物性プランクトンでした。

四、成長  
寿命はほぼ一年で、十二月までは雄の方が雌より大きいのですが、一月以降は雌の方が大きくなります。

◆成熟  
富山湾周辺において、雌は十二月から交接個体が見られ、二月に四十一%、三月に九十%とほとんどの個体が交接して

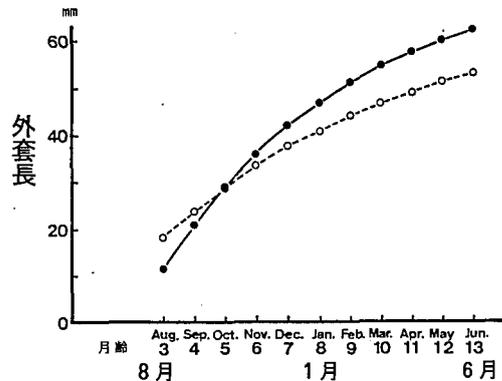


図3 富山湾周辺海域(黒丸)と日本海南西海域における雌のホタルイカの成長

一方、被捕食については仙台湾ではマダラ等の主な餌となっていました。幼稚仔期には浮魚類に、成体期には浮魚類(マサバ)や底魚類(アカガレイ)の重要な餌になっています。また、キュウリエソと生息域が近く、捕食・被捕食関係の存在が考えられます。

三、食性

十一月から一月にかけての富山県沖において中層曳網で採集された三十六尾の内二十六尾が捕食していました。捕食生物は、コペポダが主体で、その他はオキアミ類や端脚類の動物性プランクトンでした。

四、成長

寿命はほぼ一年で、十二月までは雄の方が雌より大きいのですが、一月以降は雌の方が大きくなります。

◆成熟

富山湾周辺において、雌は十二月から交接個体が見られ、二月に四十一%、三月に九十%とほとんどの個体が交接して

いました。外套長四十二mmの一部個体で、同様に五十mmのほとんどの個体が交接していました。雄では三十四mmの一部で、四十二mm以上のほとんどの個体が精莖をもっていました。

五、産卵  
◆親になれる最小の大きさ  
外套長において富山湾周辺では雌は四十五mm前後、雄は三十五mm前後でした。また、日本海南西海域では雌は四十mm前後、雄は三十五mmでした。

◆産卵数

日本海南西海域では雌一個体あたり一回の産卵数は四百～六百粒程度、孕卵数を五千～一万粒と推定しました。一方、富山湾では一回の産卵数は約二千粒、孕卵数(○・二mm以上の卵)は約二万粒ですが、総産卵数は約一万粒と推定しました。

◆ふ化時間等

発生有効積算水温は一千三百℃・時間でした。卵の大きさは一・二×一・五mm程度の数珠状の浮遊卵で、ふ化幼生の外套長は一・四mmです。

六、体長組成

日本海南西海域と富山湾とで周年にわたって採集された標本の外套長組成は図五のとおりです。漁獲時期の三～六月における富山湾と若狭湾および兵庫県沖の

図4 ホタルイカ卵の発生と稚仔

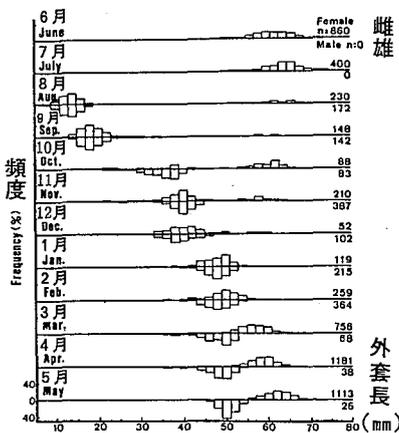
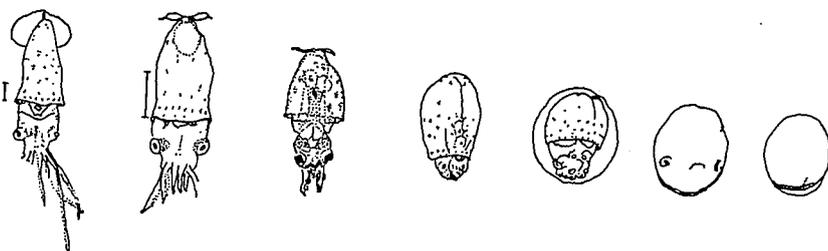


図5 ホタルイカの外套長組成

(但馬水産事務所 試験研究室 武田)

外套長を比較すると、富山湾の方がそれぞれ二～三mm程度大きくなっています。

七、資源量水準・診断  
産卵量を基本に推定してみすと、日本海全体の資源量として、昭和六十一年～平成元年では八万一千七百～十三万六千トンと見積もられ、各年の日本海における総漁獲量が占める割合(漁獲率)は、○・○三～○・○五となつて年変動が示されません。富山湾と若狭湾で推定された漁獲率は○・二～○・三四で、この期間での漁獲量は増えつつあつて、この程度では再生産に大きな影響を与えていないと診断されました。

# TOPICS

## 第40回全国漁村 青壮年婦人活動 実績発表大会

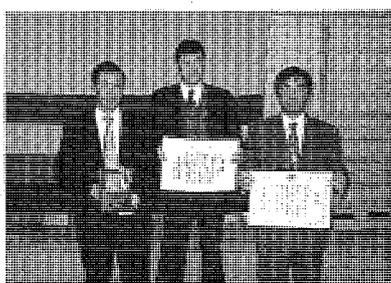
振播地区漁青連が  
農林水産大臣賞を受賞

全漁連主催の第40回全国漁村青壮年婦人活動実績発表大会が、去る三月二日、三日の両日に東京・虎ノ門・パストラルにおいて開催されました。

この大会には、全国から漁協青壮年部関係三十五グループが参加して、漁業・資源管理、増養殖、経営部門の三分科会に分かれて活動実績発表と研究討論が行われました。

本県の代表として参加した振播地区漁業協同組合青壮年部連合会（発表者 上谷正仁さん（坊勢漁協）は、第二分科会（増養殖部門）で「資源をムダにしない漁業を目指して、動きだしたバックフィッシュ運動」を発表しました。その概要を紹介します。

同漁青連が平成二年度より開始した混獲幼稚魚再放流の組織的な取り組みである「バックフィッシュ運動」は、「一人一網あたり、



受賞された振播漁青連の皆さん

三尾以上の幼稚魚を選別前の元気にうちに再放流しようとの呼び掛けのもと、当初は意識の啓蒙普及を柱

とした活動を始めた。

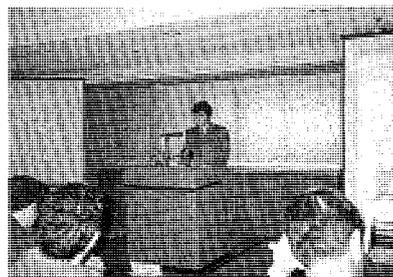
一方で、小型底曳網による幼稚魚混獲状況調査の実施をしたところ、操業の時期および場所により大量の混獲が確認された。

このような背景の中、この運動を進めていくにつれて、会員の間には、再放流技術開発への気運が高まりつつあった。

そこで、平成三年度には推進委員会を設置し、検討を重ねたところ、坊勢漁協青壮年部が考案した「夏場のシャコを活かす流水式選別水槽」は、稚魚の活力維持にも役立つ可能性があることが検討された。

同漁青連ではその効果を実証するため、平成三年度から平成五年度の間に水槽の使用の有無による活力比較試験を実施した。幼稚魚の活力維持はもとより、作業効率、選別のし易さなどの面からも水槽を使用する方が効果的であるとの結果を得た。

この運動を進めていく中で、当該地区では水槽整備漁船の増加、資源保護意識の定着、他府県への波及等の成果が現れつつある。



発表をする上谷正仁さん

今後は、意識面で啓蒙普及活動より一層積極的に進めること。技術面では、全ての底曳における水槽の実用

化を図り、将来的には混獲稚魚の保護体制を確立することが課題となっている。

同漁青連の発表に対して審査員方からは、「活動の主体が稚魚混獲の元凶である小型底曳によるものであり、また広範囲に及んでいる。」効果の判定を具体的に数値を用いることにより明確にした。」等々の評価をいただき、農林水産大臣賞受賞の栄光なる成績を収めました。

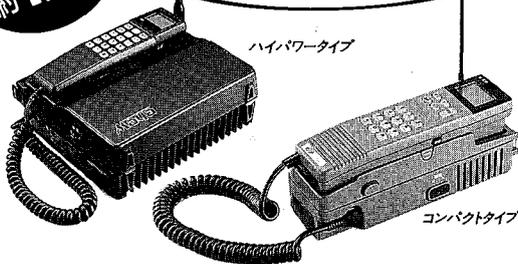
### 料金が断然安い!



通話料金は  
船舶電話の  
約 1/3

## マリネットフォン

Maya



### 操業をより安全に! 情報交換をより正確に!

マリネットフォンは多彩な機能で操業をバックアップします。

- 海の110番が利用できます
- グループ通話が可能です
- 無線従事者の配置が不要
- 全国のNTT加入電話と通話ができます

◎ハイパワータイプは、市販のコードレス電話やファクシミリ等と接続できます。詳しくは、下記までお問い合わせください。

関西マリネット株式会社

本社：神戸市中央区港島中町6丁目9番1 神戸国際交流会館7F 〒650

お問い合わせ・申し込みは ☎0120-303-245 までお気軽にどうぞ。

# 漁海況情報

兵庫県立水産試験場

## 漁況

**小型底曳網** 明石海峡周辺の漁場では、マダコ、イイダコ、アイナメ、カレイ類などが主に漁獲されている。荒天で出漁日数が少なかったため、漁模様は全般に低調であった。紀伊水道では、ウマズラハギや小型のマアジの漁獲が目立っていた。

**一本釣・曳縄釣** 明石海峡及びその周辺海域では、アイナメ、スズキ、メバルなどが主に漁獲されている。先月まで漁獲の主体であったタチウオの漁獲は減少した。一方、紀伊水道では、マダイ、マアジ、メバルなどが主に漁獲されている。

**船曳網** イカナゴしんこ漁の網下ろし日は、紀伊水道が二月十六日、大阪湾、播磨灘が二月二十一日であった。網下ろし日は、一統当たり三十五〜四十かこ（一かこ二約二十五kg）の漁獲があったが、漁場が限られているため、漁期は平年に比べ短くなる可能性がある。

## 海況

**概況** 播磨灘の水温は、十二月以降高めに推移しており、表層で九・六℃と昨年並みの値を示している。七月以降低めに推移している塩分は、一月の降水量が極端に少なかったことなどからかなり回復してきたが、依然として平年値を〇・七℃下回っている。灘全域で小型および大型の珪藻類が多く発生しており、栄養塩濃度の減少が著しい。

**水温** 北部沿岸を除く播磨灘十五地点十m層水温平均値は九・七℃であり、最近二十年間の平均値を〇・九℃上回っている。

**透明度** 小型植物プランクトン発生量が多いことおよび降雨の影響などから、播磨灘全域で先月に比べ平均3m程度低い値を示している。

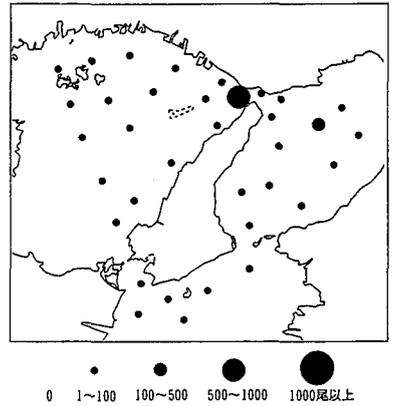
**プランクトン** 播磨灘北部沿岸を中心に小型珪藻のスケルトンやキートセロスが多く発生している。また大型珪藻コシノディ、スカスも灘全域で多く発生しており、海水一あたり表層で平均二百細胞、中層で二百三十細胞、底層で二百六十細胞程度認められる。

**栄養塩** 小型珪藻および大型珪藻の増殖により北部沿岸を中心とする播磨灘全域で減少している。表、中、底層ともリンおよび珪酸はほぼ平年並、窒素は平年を下回る値となっている。なお加古川河口域では調査前日の降雨の影響から窒素および珪酸量が極端に高くなっている。

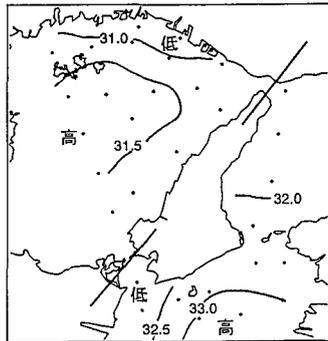
紀伊水道で実施した調査と二月上旬に播磨灘と大阪湾で実施した調査の結果、播磨灘と大阪湾では稚仔の採集尾数が昨年と同様に平年より少なかった。稚仔の成長は、播磨灘、大阪湾とも平均全長が10mmを越えており、平年の同時期に比べて大きい水準に達していた。

一方、紀伊水道では播磨灘および大阪湾から添加されたと考えられる稚仔と鳴門海峡周辺の産卵場から添加されたと考えられる稚仔の出現が認められ、採集尾数は昨年よりやや多かった。

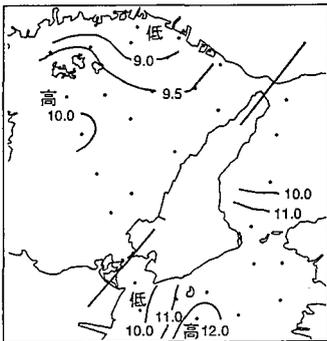
## イカナゴ稚仔



## 塩分(表層)



## 水温(表層, °C)



## 海区漁業調整委員会だより

二月八日  
兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会公聴会及び第二二二回委員会を兵庫県民会館で開催

**公聴会**  
兵庫県瀬戸内海海区における区画漁業(魚類養殖)の免許の内容となるべき事項等について  
この案件につき、公述人はなかった。

**第二二二回委員会**  
一 兵庫県瀬戸内海海区における区画漁業(魚類養殖)の免許の内容となるべき事項等の答申について  
一斉切り替えに係る南淡町福良、洲本市由良、家島町地先の魚類養殖業(小割式十二件、仕切網式二件)の漁場計画案につき審議の結果、諮問のとおり答申することに決定。

二 第三次栽培漁業基本計画案について  
県水産課より説明を受け、継続審議とし、答申決定は次回以降の委員会で行うことになった。

二月二十三日  
第三七四回但馬海区漁業調整委員会及び委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

一、小型いかつり漁業の許認可取扱方針一部改正について(諮問)  
平成五年一月一日施行の現行取扱方針のうち十トン以上三十トン未満の県内船の取扱に係る一部改正案が県から諮問され、全会一致をもって「原案どおり決定され、差支えない」旨、答申することを決定。また、十トン未満船との円満な操業調整を図るため、関係漁業者の指導方法等についても併せて確認。

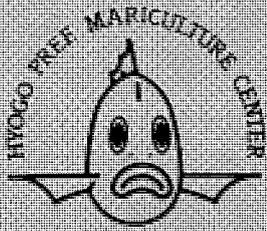
二、栽培漁業の基本計画案について(事前協議)  
沿岸漁場整備開発法に基づく平成六年度以降六年間の「第三次兵庫県栽培漁業基本計画」案について県から事前協議があり、その内容を検討の結果、特に問題はないことを確認。

三、但馬海区における遊漁及び海洋レジャーに関する現状調査結果について(報告・協議)  
昨年の七・八月に関係漁協の協力を得て実施したアンケート調査結果について事務局から報告がなされると共に、内容等について検討。結果内容に係わる異論はなかったが、委員の中から「県漁業調整規則(第四十五条)がネックになって問題に対する県の対応が遅れている。根本を直さず末節だけいじっても効果がないので、県は早急に対応の具体的な指針を示し、しかるべき指導を行うべきだ」との強い意見が出された。

四、平成五年度(第二十三回)因但漁業調整協議会の結果概要について(報告)  
去る一月三十一日鳥取市で開催された協議会の結果概要を報告。

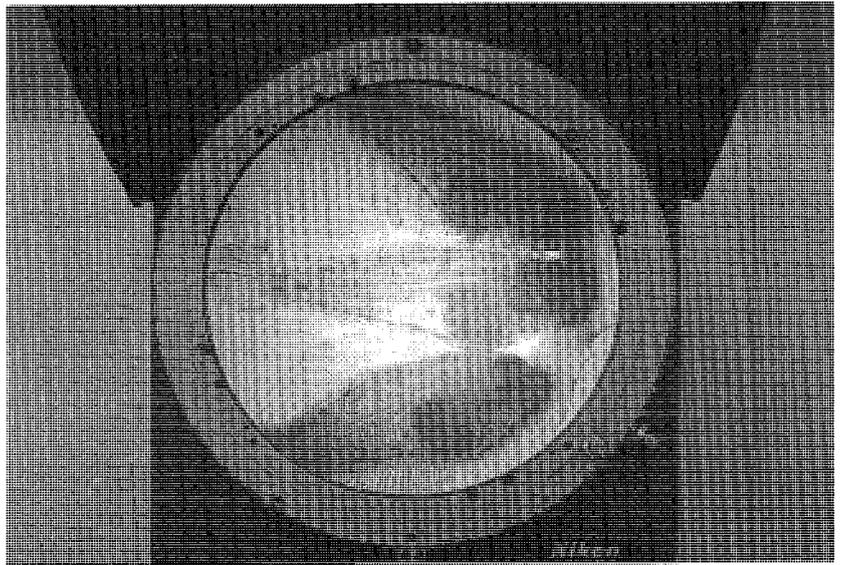
五、環日本海水産国際フォーラムについて(報告・協力依頼)  
本年八月三十日から九月一日までの三日間にわたり開催が予定されている国際フォーラムについて実行委員会の設立とフォーラム実施計画について県から報告がなされると共に、協力依頼がなされた。

六、訪韓回帰朝報告について(委員報告)  
吉岡委員から、「兵庫県機船底曳網漁業協会長の立場で去る二月十四日から十七日まで韓国を訪問し、山陰沖漁場における韓国漁船の不法操業問題打開に向け、資源保護と漁業秩序維持の確立等について複数の現地有力漁業団体と協議を行った結果、有意義な成果があった」旨の概要報告がなされた。



# 栽培漁業センターです

# 66



ふ化後38日目のマコガレイ稚魚

立春とは名ばかりまだまだ寒い日が続いています。

二月上旬の現在、栽培漁業センターで飼育中のマコガレイ仔魚は、全長十ミリを超え、浮遊生活からマコガレイ本来の姿である着底生活に移行するところです。

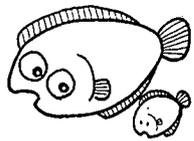
マコガレイのふ化仔魚は普通の魚と同様に左右対称に眼があり浮遊生活をしています。そして、ふ化から約一カ月、仔魚の体に変化が起こります。まず、魚体が偏平になり左眼が右に移動してきます。それと同時に透明だった体が茶色の色素に覆われ、全長約十三ミリで成魚同様の姿になります。しかし、この時期は仔魚の体に大きな変化が起こるため変態できずに死ぬ魚が多く、時には大量へい死により半減することさえあり、しばらくの間はセンターの職員も飼育に目が離せません。

昨年の十月より種苗生産を試みているアカウニは、一月十八日に殻長二ミリの稚ウニ約八万个を波板から剥離して、網生け簀に収容

し中間育成をしています。稚ウニはこれ位のサイズになると、これまでの餌料である附着珪藻からアオサ、カジメ等の海藻類へと嗜好が変わります。こうなると、餌が比較的容易に調達できるので餌料不足に陥ることも無く、マコガレイとは対照的に飼育は安定してきます。

また、城崎郡香任に建設中の県営但馬栽培漁業センターは平成六年四月の開所に向け、今急ピッチで工事が行われています。このセンターは県の提唱により来年度開催される「但馬・理想の都の祭典」の一つである、但馬・海中公園展のメイン会場（海の館）として一般公開される予定であります。この夏、香住東港一帯は一段と華やかになりそうです。

(兵裁協 楳 秀隆)



## 普及員だより

### 不調の続くシラス漁

昨年の淡路島の漁船漁業は、イワシ・イカナゴ船びき網漁業や、サワラ流し網漁業などが低調で浜の景気も、世間の不景気に歩調を合わせるかのようでした。特に、淡路におけるイワシ・イカナゴ船びき網漁業は平成三年に二万六千トンを超えてピークに漁獲量は減少傾向にあり、平成四年は二万二千トン、平成五年についてはさらに落ち込んだ模様です。しかも、淡路島の漁業はこの船びき網漁業に依存する割合が高く、全漁獲量の六十四%を占めているので、この好不漁が大きな影響を与えることとなります。

このような状況の中で、市場で販売されるちりめんじやこの価格も全般的に高くなっていくようです。

ところで、ちりめんじやことシラス干しはその呼び方が混同され、同じシラス加工品の地域的な呼び方の差と思われている方も多いかと思われ、厳密には区別されているようです。その差は乾燥の度合いによって分けられていて、シラス干しの方が乾燥の度合いが低く、乾燥の度合いが五割程度をシラス干しと呼び、ちりめんじやこと言うのはそれが八割程度を呼び、だそうです。また、シラスとはカタクチイワシ、マイワシの稚魚のことですが、一般にちりめんじやこやシラス干しに加工されるのは体長二cm前後のもので、それ以上のものから三cmくらいのもを「かえり」と呼び、さらに大きい五cmくらいのもを煮干しに加工することになります。加工法は塩ゆでしたものを天日乾燥しますが、このうち塩ゆでしたものを釜上げとい珍重されますが、保存性に乏しく流通量は比較的少ないようです。ともあれ、このちりめんじやこ、ご飯のおかずには欠かせないもので、定番のシラスおろしやちりめん山椒のほか、卵焼きに混ぜたり、きゅうりもみと和えたり、チャーハン、の具、卵とじ、かき揚げなど、およそ何んでも使える素材で、その上骨を取るわずらわしさもないので魚嫌いの人も食べてもらえるという優れたものです。

このように食べ方や加工方法が多いこと、呼び方がいろいろと細かく分かれていることは、この土地が一つの魚をいかに大切に親しんできたか、また、それを通して育んできた食文化の豊かさというものにも思いが馳せられます。去年は、米、海苔、そしてこのちりめん、いずれも不作の年でしたが、このような時こそご飯に味噌汁、焼き海苔にシラスおろしという昔ながらの食卓につけることの大切さを考えたいものです。

◆材料◆ (4人分)

いか.....1ぱい  
人参.....200g  
きゅうり.....100g  
わかめ.....50g

ドレッシング

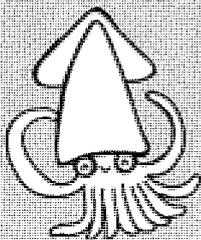
サラダ油.....大さじ8  
うす口醤油.....大さじ2  
酢.....大さじ2  
白みそ.....大さじ1  
からし.....小さじ1  
塩.....小さじ1/2

●いか入り野菜サラダ●

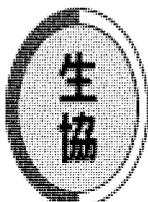


五色町漁協・鳥飼支所婦人部アイデア料理

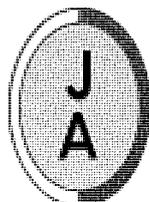
旬の美味しい話 ①7



- ◆作り方◆
- ①きゅうりは、きざんで塩をふり軽くもんで絞る。
  - ②人参は、短冊切りにしてゆでる。
  - ③生わかめは、洗って小口切りにする。
  - ④いかは、ゆでて短冊切りにする。
  - ⑤材料を全部まぜて、みそ入りドレッシングソースである。



兵庫JCC通信  
今、JA・生協では



神戸商船大学生協  
まずは大学会館食堂がオープン

神戸商船大学の学生寮が九三年四月から自由入寮制になり、九四年四月には、国営方式による寮食堂経営が不可能になることをきっかけに、教職員をはじめ、学生からも生協設立の声が高まりました。昨年十一月二十五日には、同大学内・講堂で創立総会が開かれ、八四一人(委員出席を含む)の出席者の満場一致で創立が決まりました。

創立総会のなかで、設立発起人を代表して三木楠彦先生は、「コミュニケーションの場として、より快適で豊かな生活の場として、生協が必要です。大学構成員が自ら経営主体となって食堂、書籍、文具、日用品の販売、生活全般のサービスを行うことが理想的です」と述べました。



一月十日に大学会館の食堂がオープンしてから、一日平均一八〇食と予想通りの供給を行っています。「温かい食事を多くのメニューから選ぶことができるようになって、うれしい！」との声も寄せられています。

これまで、神戸大学生協の食堂で活躍してきた巽登敏(たつみたかとし)店長は、「現在の九品目の内容充実が目標。季節ごとの変化をとり入れたメニューも何品目か独自で盛り込みたい」と意欲満々。また、店長を除く六人のパートさんは食堂の未経験者だったのですが、ずいぶん慣れて、皆一丸となって頑張っています。

四月の購買、書籍、寮食堂の事業の開始にむけて、準備を進めています。

輸入米の安全性論議  
消費者と緊急シンポジウム

ひょうごの食研究会(会長 高山敏弘神戸大学名誉教授)は一月三十日、西宮市のコープこうべ西宮北口コープセンターで「これからの農業と食を考える緊急シンポジウム」を開き、約百二十人が参加しました。

農民作家の山下惣一氏を迎え、生産者・消費者が論議を交わし、消費者からは輸入米の安全性を求める声が強く出され、「単品販売の原則と産地・生産年度表示」の徹底などが強調されました。

初めに「われわれの思い」をJAグループ代表、消費者代表、生産者代表が発表。続いてJA兵庫中央会から、ガット新ラウンド(多角的貿易交渉)農業合意の問題点と今後の対応について説明しました。

消費者代表のコープこうべ非常勤理事の依藤允子さんは、安全性や備蓄政策の問題点を指摘しながら「お米を食べる生活をするのが、消



今後の農業と食について  
論議したシンポジウム

また、生産者代表の稲作農家・清水紀雄さんは、「自分を通じて消費者とともに、生産に努力する」と、生産者と消費者の連携を訴えました。

●サンテレビの

# こちら海です



ジョレンの漁師さん。  
リポーターの面谷さんはジョレンの中の中合の数まで  
ピタリとあてた漁師さんに感激でした



リポーターは、すすめられるままに  
何と7つも食べたとか

'94. 2月20日放送  
(第856回)

## ロケだより

円山川のハマグリ  
～兵庫県城崎郡城崎町より～

ハマグリは北海道の貝塚からも発見されているように、北海道南部から九州、台湾、朝鮮半島西岸、中国大陸沿岸にかけ広く分布している代表的な二枚貝です。蛤は模様は勿論、殻も決して他のものとは合わないことから、昔から夫婦和合の象徴として用いられてきました。その、味が良いのでおめでたい席の料理には欠かせません。また、食用だけでなく平安時代の雅びな遊び「貝合わせ」に用いられたり、殻を焼いて作った石灰(胡粉)は日本画の絵具や日本人形の顔料に使われてきました。殻が厚い種類の蛤は、白は日向のハマグリ、黒は那智黒といわれる碁石の白石の材料としても珍重されてきました。

しかし現在、国内産の蛤は減少傾向にあり、韓国や中国からの輸入品がほとんどです。グレーがかかったものが韓国産、黄色っぽいものが中国産です。国内産の蛤は「浜の栗」が語源のように、扇を広げた栗のような形で茶色っぽい物が多く、色も形も歴然と違います。現在、神戸市中央卸売市場へ入荷されている国内産は熊本産がほとんどです。

かつて但馬を流れる円山川のハマグリは、味も量も日本一と称される程でした。日本海に注ぐ河口から約十二km上流の豊岡市の市街地辺りまで、潮のさすこの川の潮水と冷たい真水が日本一の蛤を育てたのです。約四千年前の縄文時代の中谷貝塚や弥生時代の川原遺跡からも、ヤマトシジミやマガキ等と一緒にハマグリが出土しています。但馬の縄文遺跡は、前期は海抜四百m以上の高地にあったのに対し、中谷貝塚は海抜六m。このことから、縄文後期になると食糧資源を海や川からも得るようになった縄文人の食生活を物語っています。

このように、円山川は古代から様々な恵みをもたらしてきた川といえるでしょう。昭和二十年代には阪路にも困る程獲れ、大きいもので四百g程もあったという蛤も減少傾向をたどり、一度赤潮の発生で壊滅状態になったそうです。しかし、現在では二トンの程の稚貝を恵み豊かな川の力に預け、順調に育つまでになりました。

蛤漁は十一月から三月いっぱい、農閑期の副業として行われてきました。今も円山川漁協に所属する一級免許を持った人しか探ることが許されていますが、常に漁に出ている人は七、八人。偶数日の朝八時から十二時までが解禁時間です。皆さんそれぞれ本業の合間に、旅館や魚屋さんの注文でハマグリ漁をしています。昔はヤスツギが主でしたが今ではジョレンがほとんど。ペテランでない扱えないというヤスツギは、竹の先につけた四つ爪の爪底をトントンと当てるだけで、挟まったハマグリの大きさまで分かるというのですから真に名人芸というところでしょうか。

取材に伺った日は雪まじり。冷たい川の水の頃が一番美味しいといわれる蛤、百五十g程の手頃なものが獲れました。魚屋さんでグラム三百円で売られていたので一個四百五十円くらいにつくでしょうか。早速焼ハマグリをお相伴させて頂いたのですが、殻と同じくらいに身が大きいく、その汁の美味なこと。これは役得としか言えない程美味いものでした。

漁師さんも六十歳から七十歳過ぎの経験四十年以上という大ペテランばかり。城崎を訪れて下さった方に美味しい蛤を味わってほしいと、雪の円山川に川舟を操っています。

1994年3月10日発行 通巻 449号  
昭和32年10月18日 第3種郵便物認可

発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会 (財)兵庫県水産振興基金

〒652 神戸市兵庫区中之島2-2-1

TEL 652-3424 FAX 671-6885

定価80円(本体78円)